

100440

リハビリテーションに関する達成動機尺度(SAMR)の開発 —統計解析による因子的妥当性の検討—

Development of a Scale for Achievement Motive in Rehabilitation (SAMR)
—Examination of factorial validity by the statistical analysis—

切○佐野伸之 (OT)1,2),京極 真 (OT)3),藪脇健司 (OT)3)

際大学保健医療福祉学部

Key words: Innovations and challenges, Assessment and evaluation, Achievement Motive

【導入】リハビリテーションはクライアントが障害を乗り越えて目標を達成していくプロセスであり,その目標に向けられた動機を理解するには達成動機が重要となる.筆者はリハビリテーションを受けるクライアントの達成動機を評価するために SAMR を開発した.SAMR には妥当性・信頼性の得られた項目が選定されている.【目的】本研究の目的は SAMR の因子的妥当性の検討を行い,クライアントの達成動機の特徴が SAMR を用いて評価できるようにすることであった.【方法】一般病院でリハビリテーションを受ける整形外科患者 199 名(平均年齢 55.17±19.45 歳)に SAMR を実施した.因子分析(最尤法, Promax 回転)による結果から SAMR の因子を検討した.尚,研究協力施設の承認,対象者の同意を得た上で実施した.【結果】全 12 項目から 2 因子解が得られた.第 1 因子(7 項目)は自身の能力を高めるために,成果が明瞭で自他から評価される目標を達成しようとする自己研鑽的達成動機と命名された.第 2 因子(5 項目)は目標を達成するために,自他が認めた方法で努力しようとする成長過程的達成動機と命名された.【考察】SAMR の 2 つの因子は,自らの人生を変革するという達成動機を捉えた側面であり,リハビリテーションを自律的に促進させる重要な要素であると考えられた.【貢献】SAMR を用いることで,達成動機という観点からクライアントの行動を評価できるようになると考えられる.